



CAIスクールREPORT

Gakken

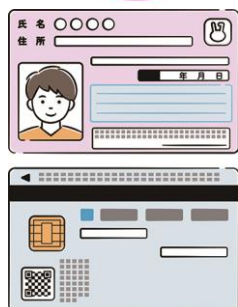
学研CAIスクール 中村橋教室

TEL. 5971-3615

新緑が美しく、さわやかな季節になりましたね。新しいクラスや学校生活は慣れましたか。ちょっと疲れが出始める頃なので、心と体を大切にしながら、勉強や部活動など、楽しんで前向きに取り組みましょう。

(写真 あり /PIXTA)


 だれでも
分かる

 教育情報
&
ニュース


(イラスト 園りんご /PIXTA)

日本の総人口 約1億2380万人 人口減の勢い止まらず

総務省によると、昨年10月1日時点での人口は、日本人は89万8000人減の1億2029万6000人であることがわかりました。人口減の落ち込みは1950年以降最大となっています。外国人を含む総人口は1億2380万2000人で、前年の同じ月と比べて55万人減少し、14年連続のマイナスとなりました。

「社会を担う中核」とされる生産年齢人口（15～64歳）の割合は全国平均で59.6%でした。都道府県別にみると、15歳未満の割合がいちばん高いのは沖縄県の15.8%で、以下、滋賀県（12.7%）、佐賀県（12.7%）と続いています。最も低いのは秋田県の8.8%で、ついで青森県の9.8%、北海道の9.9%となっています。人口数の変化は、労働力や社会保障制度の負担増など、社会の成り立ちに多くの影響を及ぼしますが、人口は簡単に増やせません。みなさんはこれからの日本はどうするとよいと思いますか。

マイナ保険証 コピーするときは要注意！

遠足や修学旅行などで、万が一に備えて保険証のコピーを用意しなければならないことがありますが、手元にある保険証がマイナンバーカードの人は注意が必要なお知らせを知っていますか？

デジタル庁によると、マイナ保険証は券面のコピーだけでは、どこの健保組合に所属しているかなどの資格情報がわからないため、別の書類が必要であると注意しています。手元の保険証がマイナンバーカードの場合、保護者が加入している健保組合や自治体から送られてくる「資格情報のお知らせ」をコピーするか、マイナカードのポータルサイトから子供の「医療保険の資格情報」をダウンロードして印刷するなどの必要があります。この機会に確認してみてくださいね。

今話題の「関税」 どんなもの？

アメリカのトランプ大統領が、世界の国や地域に対して、高い「関税」をかけると発言して、連日ニュースになっています。「関税」とは、どのようなものなのでしょうか？

関税は外国から輸入する商品に対して、国が課す税金のことで、国の収入になる他、国内の産業を守るためにも利用されます。例えば、関税が20%のとき、商品を100万円分日本からアメリカが輸入する場合、関税の20万円をアメリカ側の企業や人が払います。企業は利益を得るためにその分価格を上げるので、消費者は商品に対して高額を払わなければなりません。結果、消費者は割安な国内の製品を買うようになるので、国内の産業を守ることにつながるのです。高い関税によって日本の経済はどのような影響を受けるのでしょうか。

「やることリスト」でスケジュール管理を！



5月の後半から多くの学校で行われる定期テスト。みなさんは定期テスト対策をどうしていますか？今回は、「やることリスト」を使って、大切な勉強のスケジュールを管理するやり方を紹介します。ぜひ参考にしてくださいね。（イラスト Gugu/PIXTA）

□ テスト対策は2週間前から始めよう！

定期テスト対策は2週間前から始めましょう。数週間前に習った内容を見返し、プリントや問題集を繰り返し解いて学力を定着させるには時間が必要です。出題範囲が広く、どんな問題が出題されるかわからない定期テスト。「前日に詰め込めばなんとかなる！」という無茶な考えはやめましょう。そのような勉強のしかたでは、真の実力は身につけません。

テスト前の2週間で…

- ・範囲が広い教科や苦手な教科は早めに着手！
- ・プリントや問題集は2、3回繰り返し解く時間を確保！
- ・テスト前日は、翌日の教科をしっかりと見直せる時間を取る！

ふだんの授業の予習や復習の時間も考慮しよう！



□ 「やることリスト」を活用して、スケジュール管理をしよう！

テスト前の限られた時間内で、各教科の対策をしなければならぬので、「何をしなければならぬか・どれだけの分量を復習する必要があるか」を知るために「やることリスト」を作るのです。リストを作り、やることを具体的に目に見える形にすることで、しっかり勉強に取り組みます。テスト範囲の内容・量と日程から逆算して、勉強の計画表を作りましょう。

スケジュールを立てるときは…

- ・「数学で●点取る」「クラスで●番に入る」など、具体的な目標を立てて、モチベーションを上げる！
- ・勉強時間の長さではなく、勉強するプリントの枚数や問題集のページ数でスケジュールを立てる！
- ・テスト前日は、そのテストがある教科や暗記事項を優先に勉強するように調整する！

「やることリスト」で勉強内容やページ数など、やることを明確にして無理のないようにスケジュールを立てることが大切です。平日は2時間、休日は4時間勉強するのが理想的。1教科に集中して長く勉強するよりも、授業のように45分を1コマとして、違う教科を勉強の方が勉強の効率は上がります。リストやスケジュール表を使って、勉強の進行具合を「見える化」し、効率的に勉強を進めましょう。スケジュール通りに勉強が進んでいない場合は、別の日にやるように調整すれば大丈夫です。

また、記憶は起きているときではなく、眠っているときに定着されます。（なので寝る前に暗記ものの勉強をすると効果的と言われています。）勉強する上で睡眠はとても大切。テスト前に睡眠時間を削って勉強するのはおすすめできません。「やることリスト」を上手に使う、万全の態勢でテストにのぞみましょう。

●「やることリスト」の例

数学	目標 80 点	完了
試験範囲	教科書 p. 11-27	
教科書ワーク	p. 11-36	○
その他	プリント No. 1-3	

●スケジュール表の例

5月 17日（水）	5月 18日（木）
☒ 英語 ワーク p. 20, 21	☒ 英語（教）p. 18 の単語
☒ 数学 ワーク p. 30	☒ 数学 ワーク p. 31
☐ 国語 p. 34 の漢字	☒ 社会（教）p. 20-22
☐ →できなかったから	☐ ノート見直し
☐ 土曜日にやる！	☐

